

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社シーボン

コード番号 4926 URL <http://www.cbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 靖代

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 諏佐 貴紀

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 044-979-1234

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	7,587	2.3	863	83.5	890	90.7	401	29.7
22年3月期第2四半期	7,417	—	470	—	466	—	309	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	94.65	—
22年3月期第2四半期	72.95	—

(注) 当社は、四半期の業績開示を22年3月期より行っているため、22年3月期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	11,028	8,621	78.2	2,031.90
22年3月期	10,945	8,415	76.9	1,983.30

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,620百万円 22年3月期 8,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	45.00	65.00
23年3月期	—	35.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	55.00	90.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,755	5.5	1,501	9.7	1,542	10.8	687	△17.5	162.14

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 4,243,000株 22年3月期 4,243,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 60株 22年3月期 60株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 4,242,940株 22年3月期2Q 4,243,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善や各種政策効果等を背景に、企業収益や設備投資等も改善傾向にあります。しかしながら、欧米諸国を中心とした海外景気の下振れ、為替レートや株価の変動等景気が減速するリスクが存在し、またデフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が依然として残っていることから、予断を許さない状態が続いております。

こうした経営環境の中、当社は創業以来、化粧品を販売するだけでなく「お客様に美しくなることを提供し、その結果に最後まで責任を持つ」という理念に基づき、「お客様の美を創造し演出する会社」として、化粧品の研究・開発、製造から販売、アフターサービスに至るまでの製販サービス一体の事業展開を行い、化粧品にアフターサービスという独自の付加価値をつけることにより、他メーカーとの差別化を図っております。

当第2四半期累計期間は、新店の開設及びイベント集客強化による新規顧客の獲得と新製品の投入によるブランド力の強化を図りました。

新規出店におきましては、7月に二子玉川店、9月に大阪ヒルトンプラザ店を出店し、直営店は合計104店となりました。特に大阪ヒルトンプラザ店は、大阪の中心地「梅田駅」に直結という絶好のロケーションであり、首都圏に比べて認知度の低い近畿地区の旗艦店として、シーボンブランドを発信してまいります。さらに既存店におきましても、9月に水戸店をより集客が見込める地域に移設する等、販売網の強化を図りました。またブランディング活動の一環として、東京メトロ丸の内線「新宿駅」コンコースにて全長80メートルの大規模な壁面広告を実施し、広く当社の認知度を高め、集客活動を行いやすい環境づくりに取り組みました。さらに、女性の生活環境の変化や、消費者の電話営業に対する防衛意識の高まりから、集客活動のメインを電話での集客からイベントでの集客活動へのシフトを図っております。イベントでの集客活動としては、スポーツクラブや料理教室、スパ施設等「美容」と「健康」への関心が高い女性が集まりやすい異業種とのコラボレーションによる集客イベントを開催いたしました。これらの集客活動を積極的に展開することにより、認知度の向上を図り、顧客数の増加に取り組みました。

新製品におきましては、紫外線が強くなる時期にあわせ、4月に定番製品でありますホワイトシリーズの期間限定セットを発売、5月には夏季限定のスペシャルセット「SPA BA」を発売いたしました。また、9月には定番美容液「FPプログラム14」を毎年恒例となっている増量キャンペーンにあわせリニューアル発売いたしました。より良い製品を求める消費者の動向を注視し、これらの製品を発売したことにより、スキンケア製品（スペシャル）の売上高は5,105,789千円（前年同期比4.2%増）となりました。

なお、これら製品の発売とともに、各店舗において入会間もない顧客に対するきめ細かなサービスを徹底し、既存顧客の定着に取り組みました。

これら販売活動を実施した結果、直営店舗における売上高は7,410,731千円（前年同期比2.7%増）となり、着実に業績を伸ばすことができました。

また、第1四半期より顧客のポイント残高管理方法について、顧客の更新月を起点に管理する方法から、四半期末日において有効であるポイント残高を管理する方法に移行し、このポイント残高に過去の使用実績率に基づき将来使用されると見込まれる額をポイント引当金に計上しております。これにより、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期累計期間の売上原価は209,276千円減少しております。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高7,587,812千円（前年同期比2.3%増）、営業利益863,487千円（前年同期比83.5%増）、経常利益890,063千円（前年同期比90.7%増）、四半期純利益401,606千円（前年同期比29.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の資産は11,028,046千円となり、前事業年度末に比べて82,533千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比243,340千円増）、売掛金の減少（前事業年度末比102,219千円減）、原材料及び貯蔵品の減少（前事業年度末比79,793千円減）によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債は2,406,826千円となり、前事業年度末に比べて123,661千円減少いたしました。その主な要因は、資産除去債務の増加（前事業年度末比241,377千円増）、買掛金の減少（前事業年度末比92,778千円減）、1年内返済予定の長期借入金の減少（前事業年度末比105,000千円減）、ポイント引当金の減少（前事業年度末比79,369千円減）によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産は8,621,219千円となり、前事業年度末に比べて206,194千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比210,674千円増）によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月7日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は6,933千円減少し、税引前四半期純利益は163,614千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は233,989千円であります。

②表示方法の変更

当第2四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（四半期損益計算書）

前第2四半期累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「社宅等解約損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第2四半期累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「社宅等解約損」は1,999千円であります。

当第2四半期会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（四半期損益計算書）

前第2四半期会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「社宅等解約損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第2四半期会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「社宅等解約損」は525千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,269,602	3,026,262
受取手形及び売掛金	1,153,266	1,255,486
商品及び製品	303,807	283,890
仕掛品	68,206	124,709
原材料及び貯蔵品	308,175	387,969
その他	399,375	441,616
貸倒引当金	△907	△987
流動資産合計	5,501,527	5,518,946
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,169,636	2,102,201
土地	1,376,454	1,376,454
その他（純額）	411,072	438,135
有形固定資産合計	3,957,163	3,916,790
無形固定資産	102,893	105,700
投資その他の資産		
その他	1,469,780	1,407,307
貸倒引当金	△3,318	△3,231
投資その他の資産合計	1,466,462	1,404,076
固定資産合計	5,526,519	5,426,566
資産合計	11,028,046	10,945,513
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,937	191,715
1年内返済予定の長期借入金	—	105,000
未払法人税等	343,176	327,865
賞与引当金	22,139	30,936
役員賞与引当金	17,250	17,650
ポイント引当金	404,286	483,655
資産除去債務	2,237	—
その他	1,087,555	1,175,491
流動負債合計	1,975,581	2,332,315
固定負債		
資産除去債務	239,139	—
その他	192,105	198,173
固定負債合計	431,245	198,173
負債合計	2,406,826	2,530,488

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	449,547	449,547
資本剰余金	333,447	333,447
利益剰余金	7,849,660	7,638,985
自己株式	△77	△77
株主資本合計	8,632,578	8,421,903
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,922	△6,878
評価・換算差額等合計	△11,922	△6,878
新株予約権	564	—
純資産合計	8,621,219	8,415,025
負債純資産合計	11,028,046	10,945,513

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,417,593	7,587,812
売上原価	1,584,202	1,319,293
売上総利益	5,833,390	6,268,519
販売費及び一般管理費		
従業員給料	2,256,991	2,270,290
その他	3,105,738	3,134,741
販売費及び一般管理費合計	5,362,730	5,405,031
営業利益	470,659	863,487
営業外収益		
受取利息	1,761	1,042
受取配当金	2,568	2,671
受取家賃	27,117	23,019
その他	2,073	1,201
営業外収益合計	33,519	27,934
営業外費用		
支払利息	2,744	819
株式公開費用	32,134	—
社宅等解約損	—	453
その他	2,567	86
営業外費用合計	37,445	1,359
経常利益	466,734	890,063
特別利益		
投資有価証券売却益	20,321	—
生命保険解約益	—	318
その他	594	—
特別利益合計	20,916	318
特別損失		
固定資産除却損	15,739	7,030
投資有価証券売却損	1,813	—
投資有価証券評価損	—	11,159
減損損失	4,197	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	156,680
特別損失合計	21,750	174,871
税引前四半期純利益	465,899	715,509
法人税、住民税及び事業税	218,094	326,592
法人税等調整額	△61,720	△12,689
法人税等合計	156,373	313,903
四半期純利益	309,526	401,606

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,690,571	3,750,694
売上原価	878,928	677,553
売上総利益	2,811,643	3,073,141
販売費及び一般管理費		
従業員給料	1,120,159	1,121,952
その他	1,547,025	1,531,568
販売費及び一般管理費合計	2,667,185	2,653,520
営業利益	144,458	419,621
営業外収益		
受取利息	952	530
受取配当金	1,041	60
受取家賃	13,386	11,509
その他	1,356	508
営業外収益合計	16,737	12,609
営業外費用		
支払利息	1,379	412
株式公開費用	30,066	—
社宅等解約損	—	453
その他	884	21
営業外費用合計	32,329	886
経常利益	128,865	431,343
特別利益		
投資有価証券売却益	20,321	—
生命保険解約益	—	318
その他	221	—
特別利益合計	20,542	318
特別損失		
固定資産除却損	3,806	2,541
投資有価証券売却損	1,813	—
投資有価証券評価損	—	10,870
減損損失	4,197	—
特別損失合計	9,817	13,412
税引前四半期純利益	139,591	418,250
法人税、住民税及び事業税	105,449	192,856
法人税等調整額	△91,175	△6,440
法人税等合計	14,273	186,415
四半期純利益	125,317	231,834

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	465,899	715,509
減価償却費	147,884	151,724
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	156,680
減損損失	4,197	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△309	6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	300	△400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	877	△8,797
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	186,601	△79,369
受取利息及び受取配当金	△4,329	△3,714
支払利息	2,744	819
固定資産除却損	9,649	7,030
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	11,159
投資有価証券売却損益 (△は益)	△18,508	—
売上債権の増減額 (△は増加)	130,600	102,219
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60,151	116,378
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,348	△92,778
その他	△2,988	△104,158
小計	956,421	972,312
利息及び配当金の受取額	5,900	4,603
利息の支払額	△2,744	△819
法人税等の支払額	△340,233	△303,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	619,344	672,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,508	△111,870
投資有価証券の売却による収入	68,736	—
敷金及び保証金の差入による支出	△10,449	△32,529
敷金及び保証金の回収による収入	16,005	2,252
その他	△14,817	4,491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,034	△137,656
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△105,000	△105,000
配当金の支払額	△147,893	△186,810
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252,893	△291,810
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	353,415	243,340
現金及び現金同等物の期首残高	2,421,493	3,026,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,774,909	3,269,602

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、化粧品及び医薬部外品の製造販売事業の単一セグメントであるため、補足情報として品目区分別に記載しております。

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区分		当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
スキンケア	ベーシック (千円)	2,672,635	88.7
	スペシャル (千円)	6,020,799	102.1
メイクアップ (千円)		141,881	128.6
その他 (千円)		75,891	438.4
合計 (千円)		8,911,208	98.6

(注) 1. 上記金額は、販売単価によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 上記区分ベーシック及びスペシャルの品目構成は以下のとおりです。

ベーシック：洗顔料・クレンジング・化粧水・乳液等の基礎化粧品

スペシャル：美容液・クリーム・パック等の化粧品

4. 上記区分その他の増加要因は、株主優待品生産（約60,000千円）等によるものであります。

② 仕入実績

当第2四半期累計期間における仕入実績は、次のとおりであります。

区分別	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
商品仕入 (千円)	54,027	143.1
原材料仕入 (千円)	521,941	86.4
合計 (千円)	575,969	89.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 受注状況

当社は受注生産を行っておりませんので、該当事項はありません。

④ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区分別		当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)	
製品	スキンケア	ベーシック (千円)	2,207,183	97.6
		スペシャル (千円)	5,105,789	104.2
	メイクアップ (千円)	69,288	87.3	
	その他 (千円)	13,330	94.5	
	小計 (千円)	7,395,591	101.9	
商品	美容関係器具・小物 (千円)	21,682	106.0	
	その他 (千円)	69,770	147.2	
	小計 (千円)	91,453	134.8	
その他 (千円)		100,767	105.9	
合計 (千円)		7,587,812	102.3	

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記区分ベーシック及びスペシャルの品目構成は以下のとおりです。

ベーシック：洗顔料・クレンジング・化粧水・乳液等の基礎化粧品

スペシャル：美容液・クリーム・パック等の化粧品

3. 前第2四半期累計期間及び当第2四半期累計期間の主要な販路及び販路別売上高及び割合は、次のとおりであります。

販路別	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
直営店舗	7,214,527	97.2	7,410,731	97.7
通信販売	80,180	1.1	76,675	1.0
国内代理店	103,343	1.4	95,432	1.2
海外代理店	19,542	0.3	4,972	0.1
合計 (千円)	7,417,593	100.0	7,587,812	100.0